

## ネパールの学校を支援！

6月5日（金曜日）、杉並区立産業商工会館（阿佐谷南3-2-19）では、国外では唯一のネパール人学校・エベレスト・インターナショナル・スクール（運営：NPO ネパール教育支援センター）が主催する「Build a Future プロジェクト」が開催されます。このイベントは、地震によって多くの学校が崩壊し、約100万人に子どもたちが学ぶ場を失っている、ネパールの現状を報告するとともに、今後の教育環境の確保のために、多くの支援が必要であることを知ってもらうことを目的としています。

4月25日、ネパールでM7.8の大地震が発生しました。この地震によって、現地では、多くの死傷者が出ているほか、建物にも甚大な被害を受けました。こうした建物の中には、将来を担う子どもたちの学習の場である学校の多くも含まれています。国連の関係機関の発表では、5,000以上の学校が全壊し、100万人の子どもが学校に戻れない状況と伝えています。

エベレスト・インターナショナル・スクール（校長：プラディプ・タパ）は、ネパール国外では唯一のネパール人学校で、平成25年5月に開校し、3歳から小学5年生までの104名が通っています。学校では、ネパール地震の被害のニュースが流れると祖国の窮地を何とかしたいと、阿佐ヶ谷駅や荻窪駅など



阿佐ヶ谷駅での募金活動（5月1日）

などで児童たちが募金活動を行いました。その結果、これまでに約600万円の募金が集まりました。

明日、開催する「Build a Future プロジェクト」は、こうして寄せられた募金の使い道の方向性を報告するものです。また、ネパールの支援活動をともに行っている公益財団法人かながわ国際交流財団のジギャン・クマル・タパさんが、地震後のネパールの様子を紹介するとともに、子どもたちの教育環境を整備することが、ネパールの将来に欠かせないことを説明し、さらなる支援を訴えます。

### 【問い合わせ先】

エベレスト インターナショナル スクール：5335-7379  
杉並区広報課：正月（まさつき） 3312-6855（直通）